

新居浜工業高等専門学校	開講年度	平成29年度(2017年度)	授業科目	生物工学実験2				
科目基礎情報								
科目番号	140434	科目区分	専門 / 必修					
授業形態	実験	単位の種別と単位数	履修単位: 2					
開設学科	生物応用化学科	対象学年	4					
開設期	後期	週時間数	4					
教科書/教材	生物工学実験2テキスト 新居浜高専・生物応用化学科 毅他 著 (講談社サイエンティフィック)	ビギナーのための微生物実験ラボガイド		堀越弘				
担当教員	早瀬 伸樹, 堀 主計							
到達目標								
1.酵素反応速度や微生物増殖速度の測定ができること 2.DNAの抽出、電気泳動等のDNA実験の基本的な操作ができること 3.実験データを記録・整理して図にプロットし、理論に基づいてデータを解析し、目的とする物理量を求められること								
ループリック								
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安					
評価項目1	酵素反応速度や微生物増殖速度の測定ができる、各操作の意味を説明できる。	酵素反応速度や微生物増殖速度の測定ができる。	酵素反応速度や微生物増殖速度の測定ができない。					
評価項目2	DNAの抽出、電気泳動等のDNA実験の基本的な操作ができる、各操作の意味を説明できる。	DNAの抽出、電気泳動等のDNA実験の基本的な操作ができる。	DNAの抽出、電気泳動等のDNA実験の基本的な操作ができない。					
評価項目3	実験データを記録・整理して図にプロットし、理論に基づいてデータを解析し、目的とする物理量を求められる。求めた物理量について自分の言葉で説明できる。	実験データを記録・整理して図にプロットし、理論に基づいてデータを解析し、目的とする物理量を求められる。	実験データを記録・整理した図のプロットから、理論に基づいてデータを解析できない。					
学科の到達目標項目との関係								
専門知識 (B)								
教育方法等								
概要	生物工学実験1に続いて微生物学及び生物化学の更に進んだ実験を行い、生物工学の基礎により習熟する。							
授業の進め方・方法	本実験は、基礎生物学1、2、微生物学、生物化学1、生物物理化学1の基礎知識が必要である。分析機器を使用した実験もあるため原理などを調べるなどの事前学習が必要となる。実験レポートの考察課題には、必要な知識を図書館の参考書等で調べて、よく理解してから取り組んでほしい。							
注意点	本実験は、講義より先に実験で学習する内容もあるので、実験前にテキストを熟読し実験操作の目的を理解して実験を行うことが重要である。各自、白衣の使用・実験後の手洗い等、注意事項をよく守り、細心の注意を持って実験に臨むこと。							
本科目の区分								
授業計画								
	週	授業内容	週ごとの到達目標					
後期	1週	実験解説						
	2週	アルコール発酵1: 培地の作製と植菌	3					
	3週	アルコール発酵2: 蒸留、滴定、アルコールの定量	3					
	4週	タンパク分解酵素活性の測定	1,3					
	5週	酵素反応速度論	1,3					
	6週	酵素の活性化	1,3					
	7週	酵素の阻害	1,3					
	8週	油脂の腐敗度測定	1,3					
後期	9週	食品中のスーパーオキシドジスムターゼ (SOD) 活性測定	1,3					
	10週	大腸菌のO-Fテスト	3					
	11週	大腸菌の増殖曲線の作成	1,3					
	12週	大腸菌からの染色体DNAの抽出	2					
	13週	DNAの検出及び純度検定	2,3					
	14週	実験総括及び実験器具整理						
	15週	実験に関する演習						
	16週							
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週			
専門的能力	分野別の工学実験・実習能力 【実験・実習能力】	化学・生物系分野 生物工学実験	滅菌・無菌操作をして、微生物を培養することができる。	4				
			適切な方法や溶媒を用いて、生物試料から目的の生物体質を抽出し、ろ過や遠心分離等の簡単な精製ができる。	4				
			分光分析法を用いて、生物体質を定量することができる。	4				
			クロマトグラフィー法または電気泳動法によって生物体質を分離することができる。	4				
			酵素の活性を定量的または定性的に調べることができる。	4				
評価割合								
	実験結果	レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	40	50	0	10	0	0	100	

基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	40	50	0	10	0	0	100
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0